

一般社団法人 北海道中小企業家同友会

全道農業関連部会 道北あさひかわ交流会

<大会スローガン>

**私たちは、北の大地を耕し続ける
一次の100年に向けて、どんな種を蒔くのかー**

2015年2月18日(水) 13:30スタート

旭川トーヨーホテル

【スケジュール】

- ・ 12:30 受付開始
- ・ 13:30 開会
- ・ 13:35 記念講演【第1部】
- ・ 15:30 分科会【第2部】
- ・ 16:30 グループ討論
- ・ 18:15 懇親会【第3部】
- ・ 20:15 閉会

北海道に開拓の鋤がおろされたのは、今から約140年前のことです。そして1世紀余、先人たちの文字通り血と汗と魂を注いだ労苦の果実として、現在の約115万㌦の農地と10万人を超える農業就労人口があります。私たち、日本の食糧生産基地・北海道の農業者は、次の100年に向けて何ができるのか、どんな可能性があるのか、いかに種を蒔くべきなのか、腹を割ってじっくりと、熱く語り合おうじゃありませんか。

農業者はもちろんのこと、関連業種の方々や全く異業種の方たちの参加も大歓迎です。全道各支部からのご参加をお待ち申し上げます。

(一社) 北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部農業部会 会長 中島 張

第1部 記念講演紹介

「意地と度胸で国境を越えた」 ～米10キロから始まった海外進出～

(株)新潟玉木農園 代表取締役 玉木 修 氏

<講師プロフィール>

1979年新潟県味方村（現・新潟市）生まれ。1994年地元中学校を卒業後、農業組合法人サカタニ農産（富山県南砺市）に勤務。1年間の勤務を経て、地元に戻り重機整備や工場での製造等の仕事に携わる。その後、1999年に就農し、2003年父から経営権を譲り受ける。

2005年にコシヒカリ輸出を思い立ち、台湾に初渡航。2011生産部門の（株）新潟玉木農園、集荷や卸売、輸出業務を担う（株）エバーフリーの2社を設立。契約生産者を含めた生産規模は約200ha。栽培品種はコシヒカリ等。年商約4億円。

第2部 分科会紹介

<第1分科会【6次化】>

・テーマ：「6次産業化がもたらすメリット、デメリットとは？」

・報告者：（株）谷口農場 代表取締役 谷口 威裕 氏

・座長：（株）うけがわファームDEN-EN 代表取締役 請川 幹恭 氏

【谷口威裕氏】1949年生まれ。旭川市東旭川町で水田、畑、約60棟のビニールハウスを擁し、生産から加工、販売を行う。今秋、農場の直売所「まっかなトマト」内にカフェを開店。

【請川幹恭氏】1974年生まれ。旭川市東旭川町で水田を中心に約53haの農地を有する。消費者が農家、酒造会社と一緒に旭川産の酒米を育て日本酒を造る「農家の酒プロジェクト」を上げた。東京と横浜に「米農家ダイニング Tam-bo」を展開。

<第2分科会【TPP】>

・テーマ：「TPPで日本はようになる？～韓米FTAの現状に日本の姿が見える～」

・報告者：酪農学園大学 准教授 柳 京熙 氏

・座長：寺坂農園（株） 代表取締役社長 寺坂 祐一 氏

【柳京熙氏】1970年韓国生まれ。1999年北海道大学大学院農学研究科博士後期課程農業経済学専攻修了。農学博士。2007年、酪農学園大学酪農学部准教授。著書に韓国農業のいまを伝える「韓国のFTA戦略と日本農業への示唆」等がある。

【寺坂祐一氏】1972年生まれ。中富良野町でメロンやトウモロコシ等を栽培。自社で収穫した作物は全て、直営の直売所や通販にて販売している。農業+ダイレクト・マーケティングというビジネスモデルで日本全国を商圏としている。

第2部 分科会紹介

<第3分科会【原発】>

・テーマ：「飯舘村の今～原発と農業の関わり～」

・報告者：福島県飯舘村 酪農家 長谷川 健一 氏

・座長：焼鳥専門（有）ぎんねこ 取締役 久保 あつこ 氏

【長谷川健一氏】1953年生まれ。東日本大震災により、飯舘村に大量の放射性物質が降り注ぎ、計画的避難区域に指定された。長谷川氏は50頭の乳牛を飼っていたが、廃業し原発事故が飯舘村にどれほどの苦悩をもたらしたのかを伝えるため、全国行脚を続ける。

【久保あつこ氏】1952年生まれ。1983年に設立された「幌延高レベル核廃棄物問題を考える旭川市民の会」の元事務局長。その後、家業である「焼鳥専門ぎんねこ」を継ぐ。現在、旭川市議を務めながら、店舗の経営や原発問題など様々なことに取り組んでいる。

<第4分科会【輸出】>

・テーマ：「日本の食品を世界に売り込め！」

・報告者：JETRO 北海道 旭川相談窓口アドバイザー 栗澤 傑 氏

・座長：（有）村沢農園 代表取締役 村沢 克巳 氏

【栗澤傑氏】1968年生まれ。OA機器メーカーでシステム営業、自動車メーカーで海外マーケティング等に従事。2010年に（株）北海道夢民村の専務執行役員に就任し、同社が輸出用に開発した日本酒「粹」の海外営業を担当。2013年からJETRO 北海道旭川相談窓口のアドバイザーも兼務している。

【村沢克巳氏】1965年生まれ。北空知の稲作地帯である深川市で、水稻を中心に、蕎麦、麦、大豆などを消費者との直接販売にこだわり、生産販売している。設立当初、25haだった作付面積が現在約80haまで規模拡大している。

<第5分科会【農商工連携】>

・テーマ：「各々が得意分野で勝負～農商工連携で生まれたそば店『開拓舎』～」

・報告者：（有）大石農産 代表取締役 大石 富一 氏

・座長：（有）西神楽夢民村 代表取締役 島 秀久 氏

【大石富一氏】1959年生まれ。広尾郡大樹町で「清流大根」を中心に栽培。農業、建設業、食品加工小売業等の農商工連携により、今年6月、そば店「開拓舎」をオープンさせた。同友会とかち支部十勝農商工連携部会会長を務める。

【島秀久氏】1954年生まれ。旭川市西神楽で家業の農業を継ぎ、地域の農業者が集まり、農産物の販売会社を設立。各農家の経営を統合し、農業生産法人となる。本州などへの販路拡大を目指す一方、レストランを併設した直売店「Muu（ムー）」を開店。

= 全道農業関連部会道北あさひかわ交流会開催概要 =

〈日 時〉：2月18日（水）13：30～20：15

〈会 場〉：旭川トーヨーホテル

〈参加費〉：10,800円（懇親会費含む。宿泊代除く）

※第1部、第2部のみ参加の方は5,400円

〈オプション企画参加費〉：3,000円（バス代、昼食代として）

= オプション企画のご案内（2/19（木）） =

※オプション企画は定員30名、最小催行人数は15名です。

・ 9：00 市内出発（旭川トーヨーホテル出発予定）

・ 9：30 **（株）高橋商事工場**

1983年創業、加工用原料米を主体に米穀製品の製造、販売。ISOを取得し、2012年に7ヶ所目となる工場を新設する。社内では社員の意識が徹底され、道外からも多くの企業が工場や社内研修の見学に訪れている。また、お祭りなどの地域行事にも積極的に参加し、「米の達人」の愛称で親しまれている。

・ 11：00 **（株）カンディハウスショールーム**

1968年（株）インテリアセンターとして設立。2005年に（株）カンディハウスに社名変更。アメリカとドイツに現地法人を持つ日本を代表する家具メーカーであり、既製品のみならずオーダー家具にも対応している。展示家具数約1,000点が並ぶショールームを見学します。

・ 12：30 **石蔵ダイニング米蔵（マイハウス）**

「自分たちで育てた農産物をたくさんの人に知って欲しい」と同友会農業部会員の若手農家が中心となり、かつて米の倉庫として使われていた石蔵を改装し、オープンしたレストランで昼食をとります。マイハウスにかける思い、地域への思いを若手農家が語ります。

・ 14：00 旭川トーヨーホテルにて解散

◇全道農業関連部会道北あさひかわ交流会（2/18）出欠回答書

返信先FAX番号：0166-29-6664

出席する ・ 欠席する

（ふりがな） お名前	会社名	
	役 職	

第1部・第2部	第1希望分科会	第2希望分科会	第3部懇親会	オプション
参加・不参加			参加・不参加	参加・不参加

★申込締切：2/11（水）まで。2/11以降のキャンセルは全額ご負担いただきます。